

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6年 2月 28日

事業所名 放課後等デイサービスかりゆーし

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	4	6		・たまに、人数が今までより一人多い時がある ・個室が欲しい ・体の大きな子が多い日や、活発に動き回る子がいる時は狭く感じる。 ・十分な時とそうで無いときがある	・パーティションを設置し、 個別空間がつけられるようにする。
	②	職員の配置数は適切である	8	2		・目を離せない子がいる日は大人が足りないと感じる時もあるが、概ね適切だと感じられる。 ・殆ど大丈夫であるけど急な欠員の時には仕方ないと思う時がある	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	8	2		・入口などはバリアフリーとは言えないが、今のところ利用者さんが困っていないので問題は感じない。 ・入口、トイレが充実してる	・利用者の背丈に応じて踏み台等必要 個所に設置をしていく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画 している	6	4			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	5	5		・よくわからない ・立ち会うことが無いので分からない	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	9	1		・自分は見えてないが、その話が聞こえてくる時がある	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	1	4	5	・よくわかりません ・そういう話は聞いたことがない	・現在第三者評価は行っていないが、提 起的にコンサルタントに運営や支援につ いて助言をもらい、事業改善に繋げている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	10			・最初からやっていて参加もしていた	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	10			・そういう話を聞いている	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	6	3	1	・ツールを使ってるかどうかは分からない	・日報、経過観察表を中心に 記録をとっていく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	3		・主にその日の担当者にまかせられている。但し、 相談にはのってくれる。 ・常勤チームでやってくれるように思う	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	9	1		・節目で変えてるプログラムもある	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	8	2		・よくわかりません。 ・予定の内容を見るとそう思う	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	7	3		・現実個別対応はしてるが、明確な計画文言は不明 ・そうなる時もあるが計画してるかは分からない	
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	8	2		・しない時もある		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	7	1	・非常勤退勤時間の違いあり全員とはなっていない ・活動終了後、送迎後は話し合う時間がとれない。 ・報告はするが最後まで居ないので分からない	・日報を活用して振り返りや情報を共有していく。
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	3		・よくわかりません。 ・子どもによって記録がある子とない子がいる ・最近やる様になったと思う	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	3		・よくわかりません。 ・定期的ではなく毎日の様子をみていてその都度考えていると思う	
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7	3		・どの辺りを使ってるのか分からない	
	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	1		・見ていると思う	
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7	3		・できる学校とできない学校がある ・やっていると思う	
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	3	4	・医療的ケア児は利用していない ・医療ケアが必要な子どもを受け入れてない ・会議の時に報告がある	・現時点では医療的ケアを必要とする子どもを受け入れていない。
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	4	3	・そういう話は聞く	・必要に応じて、相談支援専門員を通して連携をとるようにしている。
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	5	1	・わからない ・している報告を聞く	・現在事例がない。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	4	2	・パートでは分からない	・放デイ連絡会の参加や研修を積極的に受けていく。
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	4	5	・公園等で一緒にの所を見ることがある	・地域の児童センターの活用などを通して、事業所でも積極的に交流の機会を検討していく。
	㉑	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	5	5		・わからない ・積極的かどうか分からない	・協議会等へ理事が参加している。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10			・連絡帳やメール、面接でやっている	
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	5	2	・情報について見聞かない ・パートなので分からない	・現時点では出来ていないが、来年度より計画内である。
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	1		・その中に入らないので分からない	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	1		・面接等で行ってる様に思う	
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	5		・よく知らない ・よくわかりません。 ・父母会の開催はしたが、定期的に開催するまでには至っていない ・保護者会は年に一度でいいのか？ ・そう聞くことがある	・保護者会は開催しているが、固定化されるように計画を予定している。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	3		・明確な苦情窓口があるかは不明 ・周知はしていない ・常にアンテナを張ってる	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	1		・通信はだしてその後のことは分からない	
	③⑤	個人情報に十分注意している	9	1		・注意しているのを目にする	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	1		・気をつけている	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	4	・お祭りの参加はあった	・来年度計画を予定している。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	3		・保護者に周知ツールを考える必要がある ・マニュアルを策定してはいるが周知はされていないのではないか ・その件は話し合ってる	・令和6年4月より、ホームページでの公表と保護者様、スタッフへの周知と説明を行う予定。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10			・定期的に実行してる	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			・研修をしている	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	3		・その場に遭遇したことがないので分からない	・個別支援計画への記載を元に、やむを得ず身体拘束を行う場合の周知をしていく。 ・身体拘束を行う場面について個々に応じた記載を詳しくしていく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	2		・保護者の指示に基づく ・記載してあって見れる様になってる	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10			・その都度会議にあがって話し合う	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。